

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容によって正しく取付けてください。

## 安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

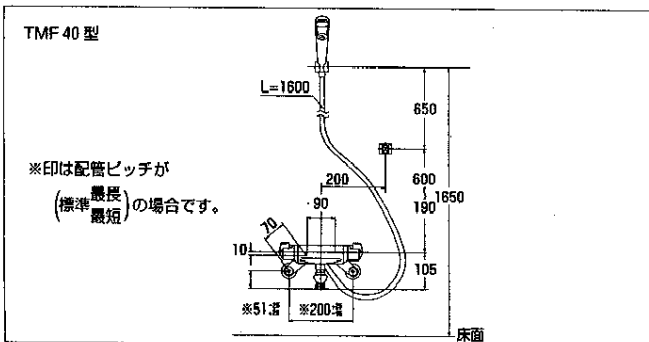
●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

**△注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

### △注意

- 湯水を逆に配管しないでください。  
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
- 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。  
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

## 完 成 図



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

## 使 用 条 件

### 1. 使用水圧

- (1)瞬間型給湯機と相合せる場合
- 給水圧力 { 最低必要水圧…(下表参照)  
最高圧力……0.75 MPa

器具入ロ部における最低必要水圧 (MPa) ( )は湯側プッシュを外した場合

給湯機タイプ		最低必要水圧
		クリックシャワー
能力手動切替タイプ	12号	
	TOTO ハイカスタム	0.15{0.12}
比例制御タイプ	TOTO ハイトリコン	0.13{0.10}
	μ16	
	μ20	
	μ21	
TOTO ハイコマンド	S16	0.14{0.11}
	S20	
	μ24	
	Gμ24	0.13{0.10}
TOTO ハイアクティ	32	
	40	

### <設定条件>

- 切替ハンドル全開
  - シャワー吐水温度：42℃
  - 給湯配管長さ：5m
- a) 能力手動切替タイプの場合
- 給湯機温度調節は最高温に設定
  - 水温の高い(25℃)夏期に着火させることを想定
  - ※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。
- b) 比例制御タイプの場合
- 給湯温度は60℃に設定

03113R

- 水温の低い(5℃)冬期に約7L/minの吐水流量を確保するのに必要な圧力とする。
- (2)貯湯式給湯機をお使いになる場合は、減圧弁の設定圧力が0.07MPa以上のものにてご使用ください。

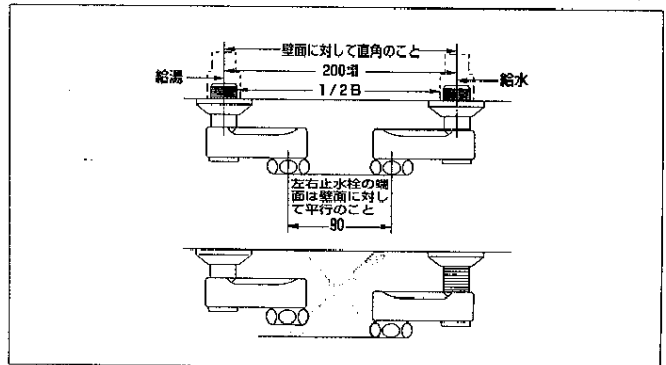
※給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。

ただし、給湯圧力は給水圧力より高くならないよう設定してください。

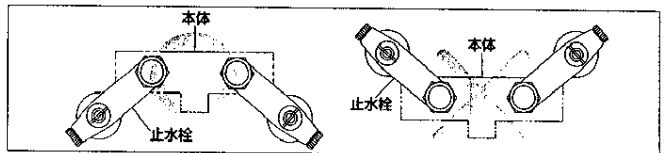
- 給湯温度は使用する温度より10℃以上高くしてください。
  - 給湯に蒸気を使用しないでください。
  - 湯・水を逆配管しないでください。
- なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。配管後は必ず保温材を巻いてください。

## 器 具 の 取 付 け

- 給水管内の清掃  
器具を取付ける前に必ず給水管内のこみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 止水栓の取付け

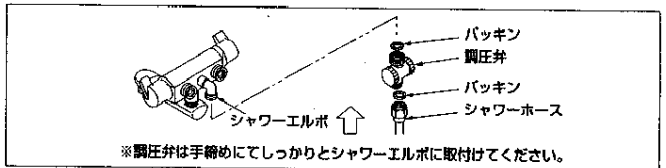


※寒冷地用の場合は止水栓の取付け位置が本体よりも上になると、水抜きができませんので必ず下になるように取付けてください。

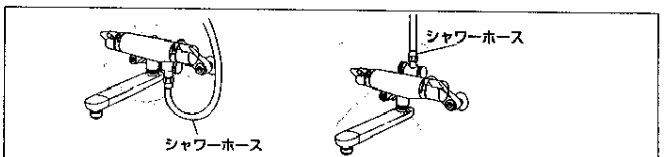


### 3. シャワーホースの取付け

本体を止水栓に接続する前にシャワーエルボに調圧弁、シャワーホースを下図のように取付けてください。

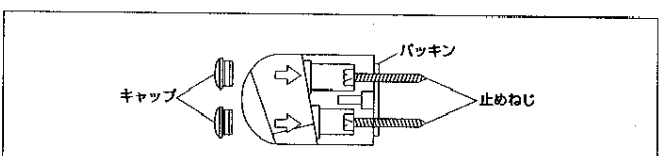


※シャワーエルボはねじ込みタイプのため、締付けた時点より下から取出せる位置までもどしてからシャワーホースの取付けをしてください。



### 4. シャワーハンガー取付要領

キャップ(シャワーヘッド回転防止ゴム)は、ねじ穴に確実に押込んでください。



## 取付後の調整

### 1. ストレーナの掃除

ストレーナがつまると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなったりするなど十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。またお客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。

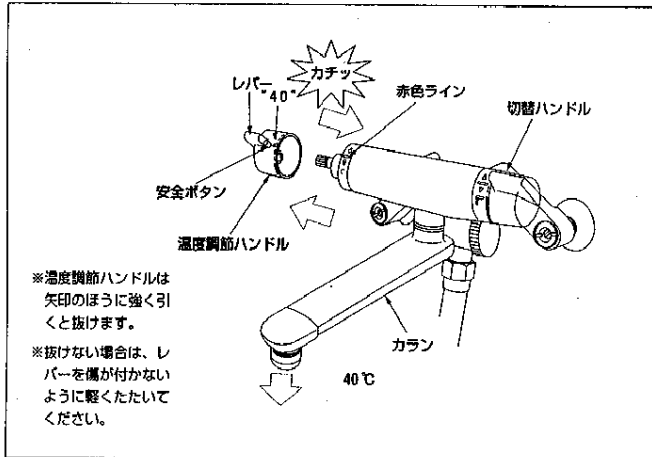
### 2. 温度調節

工場で温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況などによって、目盛どりの吐水温度にならない場合があります。その場合は次の要領で調節してください。調節する前に次のことを確かめてください。

- 止水栓は全開になっているか。
- ストレーナのごみづまりはないか。
- 常用給湯温度(50℃以上)の湯がきているか。

#### 調節要領

- (1) 切替ハンドルを回してカランより吐水させ、温度調節ハンドルを目盛に関係なく40℃の湯が出る位置まで回してください。
- (2) 温度調節ハンドルが回らないように注意して温度調節ハンドルを抜き取ってください。
- (3) 目盛の“40”の文字と赤色ラインを合わせて温度調節ハンドルを“カチッ”と音がするまで押込んでください。



## お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. ふだんは柔らかかな布でふき、ときどきシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふいてください。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分ご注意ください。
2. 汚れがひどいときには適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布でふきとった後水洗いしてください。
3. クレンザー・みがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。
4. 酸性洗剤はめっきを侵すため使用しないでください。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

## 寒冷地の水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

#### <水抜手順>

- (1) 水抜き前にシャワーから水を出し、シャワー開閉ボタンが開の状態になっていることを確かめてください。
- (2) 切替ハンドルをカラン側(手前)に回してください。
- (3) 水抜コックすべてを開いてください。
- (4) 温度調節ハンドルを“H”側いっぱいに戻し、カランから水が出なくなってからさらにハンドル“C”側いっぱいに戻してください。
- (5) カランから水が出なくなったら切替ハンドルをシャワー側に回してください。
- (6) ホースの水を抜きシャワーヘッドを振って中の水を抜いてから床においてください。

## 分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行ってください。

現象	点検項目
流量が少ない	1・2
水が止まらない	3
高温しが出ない	1・2・4・5
低温しが出ない	1・2・4・5
目盛どりの湯が出ない	1・2・4・5

寒冷地用

止めピン (Stop pin), 水抜コック (Water drain cock), 湯側・水側2カ所 (Hot side/Water side 2 locations)

※切替ハンドルを取付けるときは、ラインにハンドルのレバーを合わせて“カチッ”と音がするまで押込んでください。(必ず切替ユニットのカット面と、クリック板バネを合わせておくこと。)

※品番によっては、図と製品の形状が一部異なることがあります。

※スペーサーが外れないときは切欠き部にドライバーを差し込んで外してください。

※ナットを外すときは、クリック板バネに当たらないように若干浮かせて外してください。

あらかじめスピンドルのカット面を上に向けてください。

再生紙を使用しています。

※付属の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。